

今回はカタールの「ラスラファン工業地帯」についてお話します。

世界最大のガス田があるラスラファン

以前のORYXでカタールの天然ガスの埋蔵量が世界で三番目であることをお伝えしました。カタールの中でもっとも大きいガス田が首都のドーハから 200 km 北にあるラスラファン (Ras Laffan) というところにあります。ラスラファンからペルシャ湾に広がっている North Field に天然ガスが埋蔵しています。North Field が発見されたのは 1971 年のことです。それ以降、開発が始まり現在では年間 7700 万トンの生産量を誇る世界最大のガス田となっています。



ラスラファンの様子

無数のパイプがつながり、採掘した天然ガスを LNG にしています。(写真はラスラファン工業地帯のパンフレットから引用)



ラスラファン近郊からの様子

いくつかの煙突が見え、高く炎が上がっている様子が見られます。ラスラファン内は警備が厳しく、写真等も撮ることはできません。



ラスラファンのゲート

ラスラファンへは許可なく一般の人はいれません。事前に申請を行い、厳重なセキュリティーチェックを受けてから入ることができます。



日本人学校の校外学習の様子

ドーハ日本人学校ではラスラファンへ社会見学に出かけました。LNG 生産を行っているラスガスという会社の方から説明を受けました。

日本の LNG 輸入

日本は世界最大の LNG 輸入国で、カタールからも電力・ガス会社が全輸入量の 12% に相当する 800 万トン (2008 年、スポット取引含む) を輸入しています。昨年度、カタールで LNG の増産工事が完了し、国家目標としてきた年産 7700 万トン体制が完成しました。LNG 生産能力は 2008 年末と比べ 2.5 倍となり、ロシアを抜いて、世界一位の生産量となりました。世界の LNG 生産能力の約 3 割を一国で握っていることになります。

1992 年に中部電力が Qatargas との間で LNG 400 万トンの売買契約を締結し、続いて 1994 年に他の電力・ガス会社 7 社が 200 万トンの売買契約を締結しました。8 社は「カタール LNG プロジェクト」で輸送船 10 隻を就航させ、1997 年 1 月に第一船、2000 年 8 月に第 10 船が入港しました。日本の LNG の総輸入量においては、1 位がインドネ

シア、2 位マレーシア、3 位オーストラリア、そして 4 位がカタールとなっています。今後も LNG の増産が予定されるカタールです。カタールからの輸入量が増え、ますます日本との関係も深くなっていくことでしょう。

日本の LNG 輸入量産地別割合



出典：日本貿易月表 (2009)